

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>1 令和2年7月豪雨からの創造的復興 【施策2】県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり 施策2-①国土強靱化に向けた取組み</p>	35,744	32,096	<p>1 重要政策調整事業 (1) 令和2年7月豪雨を踏まえ、被災者のニーズに沿った迅速な支援を目的に作成する「避難所カルテ」の機能を追加するため、熊本県防災情報共有システムの改修を実施した。 (2) 災害時の「逃げ遅れゼロ」実現のため、個人・世帯ごとの防災行動計画となる「マイタイムライン」の手引きを作成した。また、ハザードマップに示された災害リスクを実感できるよう、想定浸水深や避難場所等を明示する防災標識（リアルハザードマップ標識）のデザインを作製した。</p> <p>2 地域防災力強化事業 (1) 自主防災組織の活動活性化への支援 自主防災組織の訓練や活動に必要な資機材の整備に対する支援を行った。 (2) 自助・共助の意識の醸成・啓発 令和2年12月「作ってみよう地区防災計画」（作成マニュアル）を県HPで公表するとともに、災害への備えに必要な情報をまとめた「防災ハンドブック」のリニューアルを行った。</p> <p>3 実践的地域防災力強化事業 自主防災組織に対して活動や訓練を指導する「自主防災組織活動支援員」が全市町村を訪問し287組織に対して助言指導等の支援を行うとともに、地域防災リーダースキルアップ研修（オンライン開催）等を通じて、実践的地域防災力強化の取組みを実施した。</p> <p>4 防災対策費 令和2年7月豪雨の経験を踏まえ、県及び県内市町村の防災担当職員の災害対応能力向上及び連携強化を目的として、令和3年1月から全7回にわたる豪雨対応能力向上訓練を全市町村で実施した。訓練内容は、コロナ禍における市町村の初動体制確保や、市町村・県・消防・警察が連携した情報の収集・伝達を中心とし、各市町村には職員を派遣し助言等を行った。</p> <p>5 防災情報共有基盤整備事業 ハザード情報をはじめ、気象情報や避難関連情報など、住民が避難に必要な情報を速やかに収集することができるよう、熊本県防災情報共有システムの機能を活用した「防災情報くまもと」の運用を開始し、防災情報の総合的な発信を行った。 アクセス件数（令和2年6月～令和3年3月）：約23万2千件</p>	<p>計画調査費のうち P137～P138</p> <p>防災総務費のうち P149～P150</p> <p>防災総務費のうち P148～P150</p> <p>防災総務費のうち P149～P150</p> <p>防災総務費のうち P149</p>

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応</p> <p>【施策3】持続可能な経済活動の実現</p> <p>施策3-④新たな観光スタイルの確立</p>	<p>142,249</p>	<p>116,714</p>	<p>1 くまモン使用許可等管理事業 民間事業者が販売を目的に制作する商品等へのキャラクターの利用許諾を行った。 ・許可件数：33,676件（平成22年12月～令和3年3月末） ・利用許諾商品の売上高 売上高：約1,698億円（令和2年1月～令和2年12月）（3,003業者回答／対象3,175業者） 回答率：94.6%</p> <p>2 くまもとプロモーション推進事業 県外においてくまモンを活用したプロモーションを一元的に展開することで、交流人口の増大や県産品の販路拡大等に繋がる「くまもと」ブランドの向上を図った。</p> <p>(1) 営業部長活動の強化 発信力のある企業等との連携（コラボレーション商品の開発等）により熊本県の情報発信を行うとともに、くまモンのブランド価値向上を図る「営業部長活動」を重点的に実施した。令和2年度も、シュタイフ・ライカ・ロクシタン・エースコック等とのコラボ商品発売により、大きな話題を集めることができた。</p> <p>(2) 地域の特性に応じたPR展開の実施 首都圏において、くまモンを活用した「くまもとプロモーション」を展開し、「くまもと」の存在感を高めることで、県等が実施する様々な取組みの訴求力を高めた。 ・「くまモンファン感謝祭2021 from TOKYO 特別映像だモン！」配信</p> <p>3 くまモンスクエア管理運営事業 本県の観光・物産情報を広く周知するため、指定管理者制度により、くまモンを活用した観光物産交流施設「くまモンスクエア」の管理・運営を行った。 ・累計来館者数：約307万人（H25.7.24の開館からR3.3.31まで）</p> <p>4 くまモン共有空間拡大推進事業 くまモンの共有空間を拡大させるため、民間企業の自由な発想と活力を取り入れた検討、研究を行う「くまラボ」を設置。令和2年度は22名をフェローに任命し、VR技術研究や海外への情報発信などを展開した。</p>	<p>計画調査費のうち P138</p> <p>商業総務費のうち P294～P295</p> <p>商業総務費のうち P294～P295</p> <p>商業総務費のうち P294～P295</p>

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策3-④新たな観光スタイルの確立)			5 くまモン海外プロモーション推進事業 (1) コロナ禍におけるプロモーションの実施 コロナ禍のため海外渡航はできなかったが、動画配信等による国内外向けメディア・ウェブ・SNS等を活用したプロモーションを行った。 (2) くまモンTVの配信 YouTubeチャンネル「くまモンTV」(平成30年9月開局)により、世界中に多言語でくまモン及び熊本県の魅力を発信した。	商業総務費のうち P294～P295
3 熊本地震からの創造的復興 【施策2】創造的復興の推進 施策2-②くまもとの誇りの回復と宝の継承	53,413	51,957	1 熊本地震デジタルアーカイブ事業 平成28年熊本地震の教訓等を後世に伝えるため、引き続き資料収集を行い、当初の目標である20万件収集の目標を達成し、サイトへの掲載件数も20万件を突破した。また、主な被災箇所への復旧状況をまとめた映像を作成し、サイトに掲載するとともに、防災関連イベントで上映した。(資料収集件数 R2.3月末 22万件→R3.3月末 25万件)	防災総務費のうち P149～P150
6 その他 (1) 重要政策調整事業	16,000	10,563	1 重要政策調整事業 知事からの指示事項や年度途中に発生した重要案件等について、必要な事業を実施した(事業実施所属へ令達)。 (1) 令和2年7月豪雨を踏まえ、被災者のニーズに沿った迅速な支援を目的に作成する「避難所カルテ」の機能を追加するため、防災情報共有システムの改修を実施した。(再掲)(P1に記載) (2) 災害時の「逃げ遅れゼロ」実現のため、個人・世帯ごとの防災行動計画となる「マイタイムライン」の手引きを作成した。また、ハザードマップに示された災害リスクを実感できるよう、想定浸水深や避難場所等を明示する防災標識(リアルハザードマップ標識)のデザインを作製した。(再掲)(P1に記載)	計画調査費のうち P137～P138
(2) 広聴広報の推進	209,807	179,155	1 広聴事業 県政についての県民の意見や要望を幅広く聴き、県の施策に反映させた。 知事への直行便：郵送(県内約620か所に様式を設置)・メール等(1,629件処理)	広報費のうち P125～P126

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(2) 広聴広報の推進			<p>2 広報事業</p> <p>県の施策・事業について様々な広報媒体を活用しながら、県民への説明責任を意識した情報提供を行うとともに、県外に向けて本県の認知度向上を目指し、熊本の個性や魅力について広く情報発信を行った。</p> <p>(1) 新聞紙面広報 新聞5紙に50回掲載</p> <p>(2) ラジオ広報 ・RKK「ふれあいくまもと」：3分番組（毎週月～金曜日・年261回放送） ・FMK「県庁ダイアリー」：3分番組（毎週月～金曜日・年261回放送）</p> <p>(3) テレビ広報 ・RKK「くまモン スマイル ジャンプ！」：5分番組（毎週水曜日・年45回放送、特番30分2回放送） お知らせコーナー：30秒×4本（平日19:00～21:00）毎週 年94テーマ放送</p> <p>(4) 熊本県広報紙（「県からのたより」）発行事業 ・規格：タブロイド判4頁 回数：年5回(5月・8月・10月・12月・3月) 部数：53万部/回</p> <p>(5) ウェブ活用広報事業 ・メール広報紙「気になる！くまもと」配信 配信頻度：週1回（毎週木曜日・年48回配信） 登録者数（配信数）：32,211人（令和3年3月末現在） ・県ホームページ運営管理 令和2年12月に、ホームページの契約更新に合わせて、「使いやすさ」「見やすさ」「親しみやすさ」の3つの観点から県ホームページを全面リニューアルした。 令和2年度は年間約310万件のアクセスがあった。</p> <p>(6) 復旧・復興首都圏等広報強化事業 熊本地震からの力強い復旧・復興をテーマとしながら、地震の記憶の風化防止、風評被害の払拭等を図るため、熊本の積極的な魅力発信に取り組んだ。 具体的には、漫画「ONE PIECE」と連携して進めている「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」と、くまモンを効果的に活用した熊本PR動画を6話制作し、公開した。</p>	<p>広報費のうち P125 ～ P126</p>
(3) 令和2年7月豪雨検証	2,725	831	<p>1 令和2年7月豪雨検証事業</p> <p>発災から概ね2か月の初動・応急対応について、住民の避難、初動対応、被災者の生活支援など、様々な観点から振り返りを行い、災害対応における課題や改善に向けた方向性を整理することで、今後の本県の災害対応力の向上・強化につなげることができた。</p>	<p>防災総務費のうち P149</p>

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(4) 防災センター通信設備整備			1 防災センター通信設備整備事業 平成28年熊本地震の経験を踏まえ、十分な耐震性や活動スペースを備えた新たな防災センターの通信設備工事に着手した（令和4年度末まで）。	